

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所南っ子 南っ子		
○保護者評価実施期間	令和7年 12月 23日		～ 令和8年 1月 19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36名(31世帯)	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	令和7年 12月 23日		～ 令和8年 1月 19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもたちが通所を楽しみにしてくれている。	・子どもたちが利用の期待感を高められるよう、活動内容の工夫をしています。また、誕生日には、話し合いを行い、誕生者の希望する活動をしています。同じ活動でも、学年や子どもたちの状況により、ルールの簡易化や遊び方に変化をつけるなどしています。	・活動後の振り返り時に子どもたちから出た声を参考に次の同じ活動の時に取り入れ、期待感を更に高めていく。 ・環境の整備や子どもたちへの対応について研究を重ね、安心して過せる居場所となるように努める。
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域住民や学童保育との交流が少ない。	・下校時間が揃わないことで、事業所で過ごす事が多い。 ・地域の子どもたちや他事業所とは、公園で会う事はたまにあるが挨拶程度。	・イベントの内容や回数について検討する。 ・南さつま市に連携を取り合っている事業所があるので、長期休暇などは交流出来る様にしたい。
2	・事業所のどこ部屋でどのような活動をしているか分からない。	・児童発達支援の時は、親子でのイベントが年数回あったが、放課後デイサービスでの親子イベントを実施できていない。	・放課後デイサービスの親子イベントを検討する。 ・見学はいつでも出来るので、保護者に見学が出来ることを周知する。
3			